

法人（事業所）理念	幸せの循環創造		
支援方針	”遊び”と”体験”で小さな「できた！」を大きな”かがやき”に変える		
営業時間	平日 10：00～19：00 土日祝・長期休暇 9：00～17：00	送迎実施の有無	あり

クラス名	本人支援（支援の提供上のポイント・関連する5領域）
ソーシャルスキルアップ クラス	身辺動作のスキルアップを支援するとともに、他者との円滑なやり取りや社会生活に必要なルールやマナーの習得をサポートする。 【健康・生活】支援例 ・身だしなみ（服を整える、手洗い、うがい）の練習 ・食事のマナー（座って食べる、順番を守る）や準備、片付けの練習 ・スケジュールの理解と、決まった流れで行動する力を育てる 【運動・感覚】支援例 ・他者と適切な距離など、パーソナルスペースに関する学びを通して身体感覚と社会的マナーを結びつけた支援 【認知・行動】支援例 ・ルールのある活動を通じて、見通しや順序立てた行動を練習 ・場面に応じた行動の切り替えや、待つ・我慢するスキルの習得 ・勝ち負けのあるゲームを通じて、感情をコントロールするスキルの習得 ・「失敗してもやり直せる」経験を通じたチャレンジする機会の提供 【言語・コミュニケーション】支援例 ・あいさつ、自己紹介など、基本的なやり取りの練習 ・相手の話を聞く、順番に話す、視線を向けるなど、会話に必要な基本スキルの習得 ・気持ちや考えを言葉で伝えるワーク 【人間関係・社会性】支援例 ・グループでの活動を通じて「役割分担」「協力」「助け合い」を体験 ・社会のルール（順番を守る、公の場でのふるまいなど）の理解と実践 ・異年齢の児童と関わる中で、相手の立場を想像したり、適切な対応を考える力を育てる
運動療育クラス	立つ、走る、跳ぶといった全身を使う粗大運動や、体幹トレーニングを取り入れた活動を提供する。 【健康・生活】支援例 ・姿勢の安定や体力の向上を通じて、日常生活を楽に行えるようサポート ・バランス力や筋力の向上を通じて、転倒やケガの予防 【運動・感覚】支援例 ・粗大運動（立つ、走る、跳ぶ、くぐる、登るなど）を通じた運動機能の発達 ・体幹・バランスの強化 ・回転・揺れ・圧などの感覚刺激を適切に取り入れ、感覚統合をサポート 【認知・行動】支援例 ・運動の手順理解やルールのある動きを通じて、指示通りに動く、順番を守る練習 ・合図で止まる、動くなどの活動を通じて、注意力や切り替え力を向上 【言語・コミュニケーション】支援例 ・簡単な指示（「ジャンプして」「止まって」など）を聞いた言葉を理解して身体を動かす力の習得 ・児童同士のやり取りをサポート（「どうぞ」「交代して」「もう一回やって」など） 【人間関係・社会性】支援例 ・チーム対抗戦など協力・競争・応援を通じた他者との関わりの促進 ・順番を待つ、交代する、ルールを守るといった社会性の土台の習得
クリエイティブ クラス	手や指先を使った微細運動を取り入れ、表現力や集中力の向上をサポートする。 【健康・生活】支援例 ・ハサミやのり、筆記用具の扱いなどを通じて、学校や家庭で必要な手先のスキルを育てる ・活動前後の準備や片付けを通じて、整理整頓や自立的な生活習慣の支援 【運動・感覚】支援例 ・微細運動（切る・貼る・描く・折るなど）を通じた巧緻性の向上 ・感覚刺激に配慮しながら、粘土や絵の具などの素材に触れる機会を提供し、感覚の調整・統合を支援 【認知・行動】支援例 ・手順や完成イメージをもとに、順序立てて活動する力の習得 ・「始まりから終わりまでやり切る」経験を通して、持続力や達成感を育てる

	【言語・コミュニケーション】支援例 ・自分の作品を言葉で説明したり、表現する力の育成 ・他者への質問や依頼（「貸して」「手伝って」など）を通じた実用的コミュニケーション ・材料の名前、色、形など、語彙を増やす自然な場面づくり 【人間関係・社会性】支援例 ・集団での制作（壁面づくりなど）を通じた協力や役割分担の経験 ・自分と他児童の表現の違いを楽しみ、否定しない態度や多様性への理解を育む
特別活動クラス	インクルージョン推進、ソーシャルスキルの実践的トレーニングを狙いとして、余暇活動や地域交流の機会を提供する。 【健康・生活】支援例 ・外出時のマナー（トイレの使い方、公共の場での過ごし方など）の習得 ・外出前の準備や持ち物管理を通じて、身の回りのことを自分で行う力の育成 ・活動後の疲れを意識した体調管理や、活動ベースへの気づきを促す支援 【運動・感覚】支援例 ・公園など屋外での身体活動（歩く、遊具で遊ぶなど）を通じた運動経験の拡充 ・外的刺激（音・人混み・においなど）への適応力を育てる機会 ・様々な感覚環境での活動に慣れ、ストレスへの耐性やセルフコントロール力を育む 【認知・行動】支援例 ・「何ができるか」「何がOK／NGか」を判断する力や場面に応じた行動を選択する機会の提供 ・ハプニングや変更への対応力（切り替え・柔軟性）を体験的に育てる 【言語・コミュニケーション】支援例 ・お店や公共施設での「聞く」「伝える」実践的な会話の練習 ・初めて会う人や地域の人との自然なやりとりの経験 ・活動を振り返って言葉にする練習（「何が楽しかった？」「どうだった？」） 【人間関係・社会性】支援例 ・グループ活動を通じた役割分担、協力、譲り合いの実践 ・イベント参加など、地域社会とのつながりを実感できる機会の提供 ・ルールやマナーを守りながら多様な他者と関わる経験から、自己理解と他者理解を深める
家族支援	
・子どもの感情や不安に寄り添い関係性を築き、家族や周囲の人と安定した関係を継続するためのサポートを行う。 ・子育てや今後の進路についての聞き取りを行い、困りごとへの相談援助を行う。 ・家庭での様子、ドットジュニアの様子を共有し合う。	
地域支援・地域連携	
・子どもが利用する障害児相談支援事業所や他の障害児通所支援事業所と情報交換をしながら支援の統一化を図る。 ・必要に応じて、担当者会議やケース会議などを開催し、情報収集や役割分担について協議する。	
移行支援	
・保育園や幼稚園、学校、家庭とドットジュニアでの本人の様子を共有し合い、就職・進学や進級時のサポートを行う。 ・地域の公園や図書館等への外出プログラムを提供し、地域における同世代の子どもと関わる機会を設ける。	
職員の質の向上	
・職員の知識と支援技術の向上を目指した研修の実施。	
主な行事等	
・初詣、節分、ひな祭り、こどもの日、夏祭り、ハロウィーン、クリスマス会 など季節に応じた活動。	

作成日

令和8年 7月 16日